

四季の歌

心映の投句
俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会短歌詠草

繕り田の畦を彩る曼珠沙華燃ゆるが如く競ふがごとく
さわさわと稲の垂り穂のさやぐとき昼のこほろぎいづくにか鳴く
わが庭に思いもかけぬ喜びよわずか二本の彼岸花咲く
たくまじき松によりそいもみじ葉は口紅つけしごとく華やぐ
コスモスの花咲く中に佇めば亡母在りし日の雲の流るる

白石 信子
佐竹喜久雄
辻田 幸也
武藤 鶴代
越智 早苗

サンヒルズ福智会・はな句会

池田一步選

冬晴や幸せ一ばいはなの苑
菊日和百歳迎へし恩師かな
初鳴に山湖漸く廻る
新聞の配らる、音霜の声
もつれ合ひ風に流され冬の蝶
下校児の散り行く速さ初しぐれ
返り咲く紫濃ゆきクレマチス
初霜に葱の痛手を受けてをり
石路の花垣根の隙に色のぞく
体操に始まり秋の園楽し
遺難碑祀りし山も眠りけり

宇野美奈子
大塚まさる
熊谷カツミ
田口さとし
本島真知子
桑野 園女
柴田ヒサエ
持九テル子
中西ナルエ
永末 公恵
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

身に入むや声なきこゑに地獄絵図
画用紙をはみ出す児の絵文化祭
高原の風のカラフル秋ざくら
篤農の畑に釣瓶落しかな
池澄むや鯉に語れば鱗を振る
零余子蔓引けばほろほろ母を恋ふ
太陽の白さに露の果てにけり
肌寒が厨で私待てるる
ユニホーム脱ぐ決断に銀杏散る
廃屋は昔の旅籠秋ざくら

日比生利子
建部三由紀
永尾喜美江
松岡 篤枝
長副美恵子
迫田 昌子
今井三千代
小川 雪
木戸 文敏
花石かほる

方城句会

池田一步選

銀鱗の跳ねて三隈の下り築
木の葉髪戦中戦後生き延びて
名水の紅葉散る流れかな
坂道の続く寺町初時雨
盛花の豆柿に見る耶馬の景
多枝多才堂に集いて文化祭
烏瓜藤の上に六甲山
丈摘ふ嫁菜の花の色やさし
顔づけば一陣の風冷まじき
見渡して下界の模糊と冬霞
赤と黄のコントラストの蔓擬

石橋 勝己
松本美根弥
野村 鈴子
桑野 昌宜
白石 凡子
渡邊 一枝
尾崎 和子
杉 フジエ
藤井取之介
倉石嘉代子
木村 誠一

福智の風

▶「カン、カン」と小さく澄んだ音が、取材中かすかに聞こえた。作家の説明で貫入の入る音だと知った。貫入とは器の表面に入る細かなヒビ状のもの。器は窯出し後もしばらく、この貫入が入り続けるという。「土や火は生きている」と作家は言ったが、できあがった器もまた呼吸しているように感じた。やがて器は使い手の愛着と思い出を刻みながら趣を増していく。こんなに素晴らしい産地が身近に、この故郷にあることを誇りに思った。(長野)

▶プロ野球12球団ジュニアトーナメント選考会で、金田ジュニアクラブの福島孝輔くんと福田蒼也くんが合格しました。6年生の2人は金田ジュニアでのプレーもあわずか、後ろ髪引かれる思いでチームを離れて合同練習に励んでいます。今月26日から札幌ドームで開かれる大会にホークスの一員として羽ばたく「若鷹」2人の活躍を願うとともに、留守を預かる「赤い稲妻戦士」たちの一層の奮起を期待します。(昌太郎)

▶毎日使うコーヒーカップを上野焼で新調。それまではキャラクターものばかりを使っていたのですが、選ぶ際たくさんのおきものに触れているうちに、どんどんその魅力にはまっていきました。この釉薬が好き、粗い土が使われて、高台は土みせで…全く同じというのは一つもなく、だからこそ自分の好みとピッタリ合ったものに出会えた時、それは「とっておきの宝物」になります。使うたびに深みを増す上野焼。毎日の楽しみの一つです。(日吉)



Pickup Topics

●第2回 福智町文化祭

主催/福智町文化連盟

文化の花が町を彩る

文化の花は秋が見ごろ。9月7日から11月16日までの約2か月間、福智町文化祭の7行事が町内各地で開催されました。努力という名の水をまき、楽しみという名の太陽を浴びて育った文化の花が、町に大輪の花を咲かせました。



町の総合芸術祭として、昨年新たなスタートを切った文化祭。今年の秋も、全5部門が町に彩りを添えました。

まずはスポットライトと拍手喝采を浴びたスターの競演から。9月7日に「歌謡部門」の歌謡・詩吟発表会が、10月26日に「音楽部門」のふれあいコンサートが地域交流センターで開催されました。そしてバラエティー豊かな「芸能部門」。

ダンスと民謡・日舞が11月8日と9日に同和対策研修センターで、謡曲仕舞が11月16日にコスモス保健センターで発表されました。3千761作品がズラリと並んだ「展示部門」の町民文化祭。11月2日と3日に金田体育館周辺で開催され、名作力作が訪れた人を魅了させ、出店などのイベントも盛況でした。11月16日には「一般教養部門」の町民囲碁大会が公民館金田分館で開かれ、張りつめた空気の中、真剣勝負を繰り返していました。

町の一大イベントで多くの人に感動を与え、美しく咲き誇った文化の花。これからも福智の大地にしっかりと根付き、新たな種がさらに広がることを祈ります。来年の開花が楽しみです。

1 展示部門では、格調高い「伝統工芸上野焼」が来場者を魅了した。2・3・4 芸能部門で発表された軽快なダンスに精悍(せいけん)な舞、重厚な謡曲。5 心に響くハーモニーを響かせた、ふれあいコンサート。6 町民文化祭のお茶席で「ほっと一息」。7 囲碁大会「盤上の小宇宙」での攻防。

歌謡・詩吟発表



すべてはここから始まった。福智町文化祭のスタートとなった「歌謡・詩吟発表会」。年に一度の晴れ舞台に堂々と立った参加者たちは、全100プログラムを熱唱のリレーでつないだ。